



# 国際会議 海外派遣・留学 主要外国人の来訪 国際協力 余剰兵器解体プルトニウム処分協力

## 1. 国際会議

### 1.1 国内

期 間	開 催 場 所	会 議 名 及 び 内 容
2004年 1月14～15日	大 洗	JNC/CEA (仏国原子力庁) 先進技術協定に基づく技術会合
2月23～25日	東 京	解体プルトニウム処分協力に関する日露レビュー会合
2月24～26日	瑞 浪	JNC/NAGRA (スイス放射性廃棄物管理共同組合) 技術検討会議
2月25日	敦 賀	敦賀国際パネル
2月26日	大 洗	高速炉に関する日/露セミナー
2月27日	大 洗	大洗FBRサイクルシンポジウム2004
3月15～19日	東 海	IAEA/RCA*個人被曝線量計相互比較に関する最終プロジェクト評価に関するワークショップ

### 1.2 国外

期 間	開 催 場 所	会 議 名 及 び 内 容
2004年 3月23～24日	米国 ワシントン	「JNC/DOE (米国エネルギー省) 核不拡散保障措置協定に基づく常設調整会合」

## 2. 海外派遣・留学

期 間	派 遣 ・ 留 学 先	目 的
2004年1月～2005年1月	米国 アルゴンヌ国立研究所	新型燃料の安全性試験に関する共同研究

## 3. 主要外国人の来訪

訪 問 日	訪 問 場 所	訪 問 者
2004年 1月30日	東 京	露国クルチャトフ研究所ベリホフ総裁
2月17日	東 海	英国BNFLイオン執行役員
2月26日	東 海	バヌアツ共和国セラ・モリサ財務・経済大臣
2月26～27日	大 洗	露国IPPEポブラフスキー副所長

\* Regional Cooperative Agreement for Research, Development and Training Related to Nuclear Science and Technology 原子力科学技術に関する研究・開発及び訓練のための地域協力協定 (アジア太平洋地域における原子力地域協力, IAEA)

訪 問 日	訪 問 場 所	訪 問 者
3月4～5日	東 海 大 洗 東 京	仏国CEAブシャール原子力局長
3月18日	東 京	経済協力開発機構原子力機関（OECD/NEA）エチャベリ事務局長

4．文部科学省原子力研究交流制度に基づく協力  
2003年度同制度の計画に基づき、中国2名、インドネシア1名、合計3名の研修生を受入れた。2003年度の受入れ合計数は15名（中国11名、インドネシア3名、ベトナム1名）である。

同制度に基づく講師の派遣については、2グループを派遣した。2003年度の派遣については合計3グループ8名である。

#### 5．国際特別研究員制度に基づく研究者招聘

米国、カナダから各1名の特別研究員を招聘した。2003年度同制度に基づく新規招聘の合計数は6名である（延長を除く）。

#### 6．余剰兵器解体プルトニウム（解体プル）処分協力

(1) 3体デモ照射は、ロシア原子炉科学研究所（RIAR<sup>1)</sup>）との共同研究契約に基づき、2003年4月から1体の燃料集合体の照射後試験を実施し

ている。非破壊試験は終了（データ整理中）し、現在燃料ピンの破壊試験を実施している。

- (2) BN600安全解析は、ロシア物理エネルギー研究所（IPPE<sup>2)</sup>）との共同研究契約に基づき、BN600<sup>3)</sup>のハイブリッド炉心化に際しての安全性について評価及び解析を実施している。
- (3) RIAR施設整備は、RIARとの共同研究契約に基づき、BN600ハイブリッド炉心へ燃料供給する設備の改造を実施している。
- (4) 解体プルトニウム処分協力に関する日露レビュー会合を、2月に東京で開催した。

- 1) RIAR : Research Institute of Atomic Reactors 原子炉科学研究所  
2) IPPE : Institute of Physics and Power Engineering 物理エネルギー研究所  
3) BN600 : Buistrui Neutron (Fast Neutron) 600 ロシアの高速原型炉

（本社：国際・核物質管理部）